

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	石綿による健康障害防止対策の推進		担当部局庁	労働基準局安全衛生部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	化学物質対策課		半田有通	
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	Ⅱ-2-2 労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	石綿含有建築物の解体作業に従事する労働者の石綿による健康被害を生じさせないよう、石綿障害予防規則や「建築物等の解体等の作業での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」(平成24年5月)に基づき、当該作業にかかる適切な石綿ばく露防止対策の履行を図る						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	石綿含有建築物の解体に当たっての事前調査を行う中小規模事業者の能力向上を図るため、中小規模事業者の集団に専門家を派遣し、事前調査に関する技術的指導・助言を行う。また、建材の石綿含有を分析する分析機関の技術レベルを踏まえた支援を行う。さらに、東日本大震災の被災地において、建築物等の解体現場等、がれき置き場等の石綿気中濃度測定を実施し、石綿気中濃度測定の結果を踏まえ、専門家による石綿ばく露防止対策の検証を行うことで石綿ばく露防止対策を推進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計					142
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	・東日本大震災の被災地等における建築物解体現場やがれき集積場の石綿気中濃度測定を実施した箇所のうち、高濃度の石綿漏洩等を生じさせた作業場の件数を測定箇所総数の1割未満とする		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	・東日本大震災の被災地等における建築物解体現場やがれき集積場の石綿気中濃度測定を100カ所程度行う		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—
				()	()	()	()
単位当たりコスト	87,548円		算出根拠	委託事業の分のみ計算 43,774,000/500(事業場200と集団300の合計) = 87,548円 一対象あたりの費用を算出 但し予算ベースであり、入札による契約を行うため金額が変わる可能性がある。			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	行政経費		99				
	事業費		41				
	消費税		2				
計		142					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	労働者の健康障害防止のため、石綿による健康障害を防止するための本事業はニーズがある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	石綿障害予防規則の適切な履行確保のため、国が実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札(最低価格落札方式又は総合評価落札方式)により委託先を選定する予定。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	委託事業に関しては中小企業集団、測定機関の指導等であるため、単価あたりのコストとして、対象者数で計算することは妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業は、労働者が石綿ばく露防止対策のための検討、現場測定を行うものであり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることは妥当である。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	次年度事業であるが、本事業は、一定能力のある受託者に受託させる予定であり、実効性の高い手段と言える。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	次年度事業であるが、測定結果を元に行政施策に活用する予定
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	次年度事業であるが、見込みに見合うものとなるよう努める
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	類似事業はない(石綿による労働者へのばく露防止対策を所掌するのは当課のみである)
		※類似事業名とその所管部局・府省名	-
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	次年度事業であるが、その成果は石綿ばく露防止対策の充実に活用される。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
石綿障害予防対策等の推進、石綿障害防止総合相談員の設置等を行うことにより、労働者の石綿障害を防止するための事業であり事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成23年行政事業レビュー	-	平成24年行政事業レビュー	-

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					